

Port of Hachinohe

No.
Sep 2001

2

---Maritime & Trade Report---

- 「海の祭典」八戸地区事業
- 八戸市海外経済協力員レポート
- 八戸港セミナー10月下旬開催
- 輸入展示商談会「アジアからのギフトフェア」開催
- 八戸輸入住宅促進協議会ニュースレター

1

みなとのシンポジウム盛大に開催！ …八戸港の未来を語る…

去る7月27日（金）、八戸グランドホテル2階「グランドホール」において、第16回「海の祭典」事業として「みなとのシンポジウム」が開催されました。

シンポジウムは「地球時代のみなとの役割と未来」をトータル・テーマに、こどもシンポジウム、記念講演、パネルディスカッションの3部構成で行なわれ、今後の八戸港の在り方が提言されました。

会場には平日にもかかわらず約430人が来場し、八戸港に対する提言に熱心に耳を傾けていました。

第1部 こどもシンポジウム

こどもシンポジウムでは事前に八戸港と横浜港を視察した江南小学校、湊小学校の小学生各5名が、両港の取材発表後、海の見えるホテルの整備や海底公園の整備など小学生らしい夢を語り、会場を沸かせました。

また、八戸港の基礎を築いた神田元八戸市長の神田構想にも触れ、「先人の知恵を生かし、バランスのとれた港にしていくことが重要」と提言しました。

第2部 記念講演

記念講演では「世界のみなとの四方山話」をテーマに、（社）日本船長協会会長の澤山恵一氏から元旅客船船長の経験から船乗りになった経緯や客船クルーズの魅力を語って頂きました。

澤山氏は、客船「ふじ丸」で八戸港に入港経験があり、八戸港を「客船を漁港に着けられる港」と評し、客船航海中に撮った「世界の海の美しい表情」をスライドで紹介しながら、美しい日本の海にもっと関心を持って、環境保全に努めながら港づくりをしてほしいと講演を組みました。

第3部 パネルディスカッション

「魅力ある美しいみなとまちづくりに向けて」をテーマに行なわれたパネルディスカッションでは、八戸工業大学の須田教授をコーディネーターに4人のパネラーが出席し、八戸港のイメージや地域住民とみなとの関わり方などについて発言しました。

ディスカッションではパネラーとして出席した東海大学短期大学部助教授の東氏が清水港での港湾景観改善への取組みを紹介し、色彩による特色ある港湾作りの意義を強調。中里八戸市長も八戸港の港湾整備が産業優先の下になされてきたことに触れ、今後は親水空間の形成と種差海岸や蕪島などの貴重な観光資源の活用に力を入れていくことを約束しました。

コーディネーター：

八戸工業大学教授 須田 澄氏

パネラー：

日本船長協会 澤山 恵一氏

東海大学短期大学部助教授 東 恵子氏

地域代表 梶沢 孝子氏

八戸市長 中里 信男

PORT OF HACHINOHE

特集

第16回「海の祭典」あおもり2001

ポートアイランドを中心に様々なイベントを開催

去る7月20日～29日の日程で第16回「海の祭典」あおもり2001が開催されました。

「海の祭典」は、海の利用・開発及び海上交通の重要性、海洋環境の保全、海上安全の確保など、広く国民の海に対する関心を喚起することを目的とした祭典です。今世紀最初の「海の祭典」開催地となった青森県では、青森、八戸、鰯ヶ沢、六ヶ所の4地区を会場にイベントが行われ、副会場の八戸地区では「海に憩う八戸港」をテーマに、海上保安庁音楽隊コンサート、船舶・帆船フェア、ハチノヘ・マリン・フェスティバルなどの様々なイベントが開催されました。期間中、八戸地区は天候に恵まれ、各イベント会場は多くの市民で賑わいました。

海上保安庁音楽隊コンサート

7月21日（土）
八戸市公民館

初の八戸公演に会場はほぼ満席。演奏終了後のアンコールの拍手が鳴り止まない程の盛り上がりに、音楽隊も「八戸の人々は乗りがよい」と絶賛。



「日本の灯台・日本の渚」パネル展
「帆船・漁船」模型店

7月20日（金）～26日（木）（23日を除く）
八戸市公民館



「日本の灯台50選」や「日本の渚百選」のパネル展示の他、市内漁業会社・愛好家などが所有する帆船・漁船模型などの展示が行なわれました。
精巧に出来あがった手作りの模型に、来場者は時間を忘れ鑑賞していました。

軍艦「アンリ・グラサ・デュー」号

船舶・帆船フェア

7月21日（土）～29（日）
ポートアイランド、白銀ふ頭、八太郎ふ頭



人気の高かった巡視船「あぶくま」の体験航海。



ポートアイランドに寄港するロシア帆船。左からパラダ、ナジェジュダ。外国船籍の帆船が2隻同時に寄港するのは大変珍しい光景です。



大勢の市民が見送る中、横浜への八戸市民クルーズに出航する客船「ふじ丸」。



海洋少年団から両船長に花束贈呈。

みなとの見学会 7月22日（日）



約80人が監督測量船「ほくと」に乗船し、1時間かけて港を見学。乗船した子供たちは船からの景色におおはしゃぎ。

ハチノヘ・マリン・フェスティバル

7月28日（土）、29（日）
ポートアイランド内特設会場

世界の「物」「食」「文化」を体験してもらおうというコンセプトで行なわれたフェスティバルでは、輸入品を販売する「ワールドバザール」、海外料理を味わえる「ワールドグルメツアーや民族芸能等を披露する「ワールドステージ」の他、三陸沿岸各市の物産販売、八戸港海事官公署によるPRなどが行なわれ、異国情緒漂うフェスティバルとなりました。

「ハチノヘ・マリン・フェスティバル」は「海の祭典」八戸地区の目玉事業で、土、日に開催されたこともあり、2日間で約2万9千人が来場。多くの親子連れで会場は大盛況となりました。



世界各国の様々な輸入品が並んでいました。



ペルーの民族音楽フォルクローレには、多くの来場者が聞き入っていました。異文化との交流の窓口。これこそまさに港の姿ですよね。



こんなにも多くの人がワールドステージに集まりました。



八戸港海事官公署PRブースでは、子供たちが港や貿易などについて学びました。



エジプト料理やギリシア料理（スザキ）などが非常に人気がありました。



子供に大人気のキャラクターショー。ヒーローとの握手会には長蛇の列が…。

海の祭典 フィナーレ

7月29日（日）
ポートアイランド内特設会場

記念品の贈呈が行なわれた後、青森県「えんぶり」、石川県「七尾まだら」の郷土芸能が披露され、10日間に渡って開催された第16回「海の祭典」あおもり2001を締めくくりました。



青森県から次期開催県である石川県へバトンタッチ



県民の歌「青い森のメッセージ」とともに閉幕



広域市町村物産展ではいちご煮やせんべい汁、手作りアイスなどの地元の味を販売。



三陸海の観光物産展コーナー。気仙沼市のカヒレスープはあつという間に完売。

八戸市海外経済協力員レポート

八戸市は、2001年9月現在、海外在住（タコマ、香港、マニラ、バンコク、シンガポール、ブリスベン）の6名を「八戸市海外経済協力員」に委嘱し、協力員には現地の出来事や経済状況をレポートして頂くことになっています。

八戸地域の企業等が協力員の在住都市を訪問する際には、協力員に現地事情の説明等をして頂けることになっていますので、ご希望の方は八戸市建設部港湾河川課（TEL0178-43-2111）までご連絡ください。

また、八戸市ホームページにて協力員制度の紹介をいたしておりますので、御参照ください。（市ホームページアドレス www.city.hachinohe.aomori.jp）

REPORT1

シンガポールの紹介 Singapore



KDDIテレコメット株式会社
ディレクター
佐々木 康宏さん



シンガポールの
コンテナターミナル

今回はシンガポールの港湾事情をお伝えします。

シンガポールは人口4百万足らずの小国とは言え、同国登録の船舶は2,375万トン(1999年12月)と世界7位であり、300の航路により700港と接続するなど海運・港湾の点では大国といえます。

1999年は、世界中のコンテナ取扱量の9%、コンテナ中継量の30%に当たる1,590万TEUを、2000年は1,700万TEUを取り扱いました。これは、シンガポールが地理的にアジアの中心に位置しており、東西の貿易の中継港として昔から重要な役割を担ってきたことを裏付けるに十分な数値といえるでしょう。

その中継貿易を支えるシンガポールのコンテナターミナルは4つ(Tanjong Pagar、Kepple、Brani、Pasir Panjan)あり、シンガポール港湾公社(PSA)によって運営されています。

その中でPasir Panjanは、水深15Mのバース、18列まで対応可能な埠頭クレーン及び9層までコンテナを積載することができるブリッジクレーンを備えた世界最大級かつ最新鋭のコンテナターミナルです。

PSAのコンテナバースは合計37ありますが、それぞれ年間50万から75万個のコンテナを処理可能で域内他港の処理能力(25万から35万個)を大きく上回っています。船舶毎の処理能力は1時間100個を超え、昨年は1時間200個の記録を8回達成しました。PSAが1972年の操業以来取り扱ったコンテナは2001年8月には1億4500万個に達し、それらを積上げると月まで達することになります。いかにアジア一番の貿易港であるかがお分かり頂けると思います。2000年アジア貨物業界賞では11度目のベストコンテナターミナルオペレータを受賞しました。

日本はシンガポールの貿易相手国としてマレーシア、米国、香港に次ぎ4位ですが、両国の結びつきは今後益々深くなっています。年内締結に向けて日本シンガポール自由貿易協定の交渉が2001年1月16日に開始されました。相互の関税撤廃により益々両国間の貿易量が増え、八戸港もその一躍を担うことになると期待しております。

REPORT2

バンコクの紹介 Bangkok



時事通信社 バンコク支局
記者 池田 政巳さん



中国人街ヤワラート

バンコクはこれから4月にかけて一番熱い（暑いでは間に合わない）時期である。気温は36度に達し、歩くことが全く億くうになる。涼しいビルの中での買い物が一番だ。スーパーではタイ北部のアユタヤの寒冷イチゴが終わり、マンゴスチンやランプータン、スターフルーツなど日本では見たことがないが、それは美味しい果物が多い。この中で、意外に健闘しているのがリンゴである。

日本にも上陸した仏・カルフールや英・テスコなど外資系スーパーをのぞくと、山と積まれた熱帯果物の脇でリンゴが整然とならんでいる。日本人街といわれるスクムビット地区にある日本人御用達のフジスーパーでも同じだ。しかし、リンゴの種類は違う。カルフールなど外資、地場系ではフランス、ニュージーランド、豪州、米国から来る皮の真っ赤な小粒なものが主流。ところがフジスーパーには日本でもみたあのフジが並んでいる。

しかし、これが青森のフジとは全く違う。表皮にある薄紅色の粗く食べてみると素っ気無い。青森フジのサクサクとして蜜たっぷりの美味しさが無い。フジスーパーの従業員に聞いてみた。「これはブータン産です。中国人の街・ヤワラートからの仕入れです。昔は日本からも輸入していましたよ。しかし高す

ぎて。熱心な日本人がブータンでリンゴ植林を指導し成功したと聞いています」という。日本産は150バーツ(450円)、ブータン産なら20バーツ(60円)。

その翌日、バンコクの中国人街・ヤワラートにいってみた。街は息切れがゼイゼイするほど暑苦しく、ゴタゴタし、とてもではないが日本人に長居は無理だ。そんなわけで、ブータン産リンゴをたどる旅もあいなく終了となった。

REPORT3

香港の紹介 Hong Kong



読売香港有限公司
広告営業主任
今 寿美子さん



3枚100香港ドル(約1600円)と
廉価になった正規版VCD

香港では日系のデパート・スーパーに加え、ここ数年の日本ブームに伴って、日本の食品、衣料品、CDや雑誌などがぐっと手に入りやすくなった。特に若い女性のファッションに関しては日本人と見紛うばかりだ。その日本ブームの背景には日本のTVドラマ人気があったように思う。

98年から99年にかけて、日本のTVドラマを違法にコピーしたVCD(ビデオCD)が大量に市場に出回り、放送の3、4日後には中国語の字幕付で1枚HK \$ 20(約320円)前後で販売され、日本のドラマを見ることが一つのトレンドだった。これと同時に映画、音楽CD、コンピューターソフト、ゲームソフトなどのCD、VCD、CD-ROMの海賊版も出回り、もともと著作権などの知的所有権に対する意識の低く取締りも緩かった香港では何の罪悪感もなく売買され、海賊版最盛期を迎える。

著作権を所有する出版元が再三海賊版業者に対し訴えを起こし、外交に深く関わってくる知的所有権の侵害を重視した香港税関も海賊版を罰する法律を整え、大規模な取締りを繰り返している。そういううちに映画のVCDに関しては、正規版の価格が下がり海賊版に近づいたため、粗悪な品質の海賊版が淘汰されつつある。香港人の著作権への意識は向上しつつあるが、未だにブランド品だけではなく、食用油や電池に至るまであらゆるコピー品が存在するニセモノ文化は根強い。

香港税関はこの4月に著作権に関する条例を新たに設置し、海賊版の一層の撲滅を目指す。現在、ビジネスに使用されているソフトウェアの約50%がコピーといわれる現状をどこまで改善できるかが目下の課題である。

八戸港セミナーのご案内

八戸港国際物流拠点化推進協議会では八戸港のコンテナ航路サービス状況などを広くPRするため、地元八戸、東京にて八戸港セミナーを開催いたします。セミナーでは八戸港の紹介の他、物流についての講演も予定されています。また、八戸での第1部セミナーは一般の方も参加可能で、入場は無料となっております(事前申し込み必要)。是非この機会にセミナーにご参加ください。

八戸港セミナーin八戸

日時	平成13年10月26日(金) 15:00~19:00
場所	八戸グランドホテル
第1部	セミナー 15:00~17:00 講演、八戸港紹介など
第2部	情報交換会 17:00~19:00

八戸港セミナーin東京

日時	平成13年10月31日(水) 10:30~13:30
場所	KKRホテル東京
第1部	セミナー 10:30~12:00 講演、八戸港紹介など
第2部	情報交換会 12:00~13:30

申込方法

セミナー参加ご希望の方は、住所、氏名、会社名、役職、電話番号、FAX番号、電子メールアドレスを明記の上、下記事務局までハガキにて申し込み下さい。(FAX、電子メールにても受け付けております)

事務局

〒031-8686 青森県八戸市内丸1-1-1 八戸港国際物流拠点化推進協議会(八戸市建設部港湾河川課内)
TEL 0178-43-2111(内線308、338)、FAX 0178-24-6186、E-mail hppc@hi-net.ne.jp

八戸港の貿易概況状況報告 (2001年1月～7月)

039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階
日本貿易振興会 (JETRO) 八戸情報デスク TEL 0178-72-1850 FAX 0178-72-1503

<概況>

八戸港の平成13年1～7月輸出実績は魚介類が大幅に伸びたが船舶、フェロニッケルなどの不調により前年比24.8%減と大幅に下回った。

一方輸入では、飼料原料のとうもろこし、大豆粕及びウッドチップ、木材等が好調に推移し、前年比15.5%増で推移している。

コンテナ貨物の1～7月輸出実績は96億9258万円(28.1%減)本数では3,521本(5.3%減)、輸入は80億3,021万円(9.2%増)、本数では6,173本(7.5%増)であった。

■ 1月～7月の貿易額 (単位：千円)

輸 出

品名	単位	累計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
船舶	NO	4	4,583,500	36.4%	64.2%
フェロニッケル	MT	61,370	8,682,221	86.1%	66.5%
有機化成品	KG	1,144,960	1,146,392	104.9%	64.1%
紙製品	MT	4,241	411,185	85.0%	87.4%
一般機械	MT	1,021	381,861	128.8%	135.3%
鉄鋼製品	MT	9,858	417,919	287.8%	94.2%
飼料	MT	2,811	153,794	80.6%	91.0%
魚介類	MT	8,800	1,453,485	811.8%	682.5%
亜鉛塊	MT	6,619	754,689	179.9%	169.7%
その他			1,045,462		79.5%
計			19,030,508		75.2%

●コンテナ貨物取扱分実積(前年比)

輸出	輸出 96億9258万円(71.9%)
輸入	輸入 80億3,021万円(109.2%)
合計	合計 177億2,279万円(85.1%)

●コンテナ貨物通関本数

9,694TEU(前年比102.5%)

内訳(輸出3,521TEU/輸入6,173TEU)	
東南アジア航路	4,983(出2,872 入2,111)
韓国航路	3,722(出 571 入3,151)
北米航路	648(出 0 入 648)
他港別送分	341(出 78 入 263)

輸 入

品名	単位	累計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
ウッドチップ	MT	499,513	7,902,736	99.8%	108.9%
とうもろこし	MT	442,610	6,422,855	96.3%	111.3%
ニッケル鉱	MT	1,468,125	6,446,135	100.0%	92.2%
木材	CM	106,693	2,553,830	91.7%	105.5%
亜鉛鉱	MT	79,856	2,149,854	77.4%	74.5%
大豆粕	MT	112,662	3,343,393	112.8%	136.6%
魚介類	MT	3,691	2,011,025	97.1%	100.5%
飼料	MT	87,391	1,441,267	132.7%	106.9%
石炭	MT	331,398	1,481,757	69.0%	83.6%
こうりゃん	MT	117,943	1,706,412	85.8%	100.1%
ウッドパルプ	MT	17,239	1,062,422	87.8%	80.4%
カオリין	MT	110,771	2,270,889	123.6%	140.5%
肥料	MT	45,445	1,365,114	1344.5%	1938.7%
重油等	KL	43,422	1,027,939	91.6%	102.3%
コークス等	MT	28,805	325,482	68.1%	87.3%
鉛鉱	MT	21,771	323,356	200.7%	161.7%
金属製品	MT	1,573	294,375	53.5%	45.1%
その他穀物	MT	19,480	322,157	66.6%	82.6%
糖蜜	MT	5,827	54,425	242.2%	326.5%
その他			14,885,447		157.9%
計			57,390,870		115.5%

資料：八戸税関支署発表の貿易統計から抜粋

八戸港貿易センターを会場に毎年開催されている輸入品展示商談会が今年はアジアをテーマに下記の日程で開催されます。

今年はアジア9カ国から衣類、アクセサリー、装飾品、バッグ、雑貨、ぬいぐるみ等ギフト製品のサンプルを集めて展示及び商談会を開催します。

ビジネスチャンスの拡大とアジア製品の輸入促進のため、この機会にぜひご来場下さい。

日時 平成13年9月27日(木)～30日(日) 10:00～17:00

27, 28日はビジネスデイ。(27日は13:00～17:00)

場所 八戸港貿易センター ポートラホール及び駐車場

アジア貿易情報セミナーのお知らせ

上記フェアと同時にアジア諸国の貿易情報に関するセミナーを下記のとおり開催します。この機会にぜひご参加下さい。

第1部 9月27日(木) 14:00～16:00

(1) 「アセアン諸国の貿易事情について」

講師 嶋田 正博氏(国際機関日本アセアンセンター貿易部長)

(2) 「リアルタイムのフィリピン」

講師 ロマン・G・バルタザール氏(フィリピン大使館商務参事官)

棚川 穣氏(フィリピン大使館商務オフィサー)

第2部 9月28日(木) 13:00～14:30

(1) 「アジアの生産地と日本のマーケット」

講師 大倉 紀子氏(ジェトロ海外商品発掘専門家)

(株)ジャンヌマリー代表取締役)



「輸入住宅技術者研修」開催のご案内

この研修は、輸入住宅に関わる方を対象にし、欧米の先進的かつ合理的な管理手法・施工思想などを習得し、輸入住宅関連企業における優秀な管理者育成を目的にしています。

全国7都市、東北では八戸市（青森県）でのみ開催です。貴社の技術力商品力アップに向けてぜひご参加ください。

日時：2001年10月4日（木）～5日（金）

会場：八戸プラザホテル（青森県八戸市柏崎一丁目6-6 TEL：0178-44-3121）

主催：輸入住宅産業協議会（TEL：03-3980-7311）

※講義内容等の詳細は同協議会ホームページwww.ihio.or.jp/keをご覧ください。

受講費用：6,000円/日、2日間12,000円（ともにランチ付き）

お問合せ：八戸輸入住宅促進協議会まで

日	講義時間	講義内容	講師（予定）
10/4（木）	09:00～11:00	輸入住宅／ツーバイフォー住宅の構造性能とその設計手法	高橋 憲一郎
	11:00～13:00	施工管理と工程管理の実践	
	13:00～15:00	北米の施工手法による施工の合理化と国内施工の相違	井上 牧
	15:15～17:15	省エネ基準と気密断熱性能	由本 達雄
10/5（金）	09:00～11:00	気密・断熱施工手法と問題点	由本 達雄
	11:00～13:00	営業／設計／施工を通した顧客との問題点	
	13:00～15:00	輸入住宅／ツーバイフォー住宅のクレーム対策	青野健司
	15:15～17:15	輸入住宅の換気計画と留意点	三品 孝

あおもり住宅フェア 2001 in八戸

住まいに関する講演会、優良木造住宅コンテスト作品展等を開催。当協議会も出展しますので、お誘い合わせのうえご来場ください。

開催期間：2001年10月13日(土)～14日(日)

会場：八戸市体育館 **主催：**青森県、八戸市、青森県住宅フェア実行委員会

お問合せ：フェア事務局の青森県建築住宅課（TEL:017-734-9695）まで

www.pref.aomori.jp/kenchiku/

八戸港FAZ共同輸送サービス（01年10月～02年1月）

北米等から、コンテナ船でダイレクトに八戸港へ輸入できます。

小口建材・部材輸入にご活用ください。個人輸入の場合でもお気軽にご相談ください。

米国(シアトル)発 → カナダ(バンクーバー)発---八戸港着

01年10月27日→10月30日 → 11月13日

01年11月24日→10月27日 → 12月11日

01年12月22日→12月25日 → 02年1月8日

利用料金：¥20,000/M3～（海外取扱手数料は別途）

お問合せ：（株）八戸港貿易センター(HPTC) TEL 0178-72-1505



HIHA：八戸住宅促進協議会

039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 (株)八戸港貿易センター内
Tel : 0178-72-1505 Fax : 0178-72-1503

www.hiha.jp

カタログ・資料をご希望の方はHIHA事務局へ。送料とも無料でお送りします。

■HIHA会員

南部木材(株)	八戸市 0178-45-4331	丸喜(株)齋藤組	青森市 017-777-3329	駒井建設(株)	青森市 017-741-5167	(株)東北産業	五戸町 0178-61-1100
杜陵ハウス工業(株)	八戸市 0178-44-9633	(株)黄金工務店	青森市 017-741-8451	(株)鎌田建設工業	青森市 017-741-2063	(株)ハシモトホーム	八戸市 0178-71-1700
(株)ビアス	八戸市 0178-72-1513	アヒ設計建設(株)	むつ市 0175-23-5511	(株)テーオー・小笠原	青森市 017-736-2000	カナディアンホームズ(有)	十和田市 0176-21-1570
(有)ウッドペッカー	八戸市 0178-46-4606	色川木材(株)	八戸市 0178-27-2513	(有)スズキアーキテクツ	鶴田町 0173-23-1010	ビルド・コンパス(株)	八戸市 0178-71-3037
(株)トーリン	むつ市 0175-22-6333	三上建設(株)	青森市 017-723-2771	(有)シユーハウジング	八戸市 0178-47-3993	(有)山広産業	住宅部 八戸市 0178-27-6570

	コンテナ航路	船社名等	集荷代理店	寄港間隔	主な寄港地
外航	東南アジア航路	PIL OOCL	八戸通運 八戸港湾運送	1便／週	[寄港地] 韓国(釜山)、台湾(基隆、高雄)、香港、シンガポール [接続地] 東南アジア全域、欧州、北米、豪州、他
	韓国航路	南星海運(株)	八戸港湾運送	2便／週	[寄港地] 韓国(釜山) [接続地] 中国、欧州、北米、南米、豪州、他
	北米航路	WSL	八戸港湾運送	1便／2週	[寄港地] アメリカ(シアトル)、カナダ(バンクーバー)
内航	内航フィーダー航路	(株)横浜港コンテナライン	八戸通運	1便／週	[寄港地] 横浜 [接続地] 世界各地

PIL : Pacific International Lines (Singapore) OOCL : Orient Overseas Container Line (Hong Kong) WSL : Westwood Shipping Lines (U.S.A)

主な寄港地～八戸港の所要日数(最短)

寄港地	所要日数(日)	
	輸出	輸入
釜山(韓国)	2	2
基隆(台湾)	6	8
高雄(台湾)	7	9
香港(中国)	8	11
大連〃	9	8
青島〃	9	8
上海〃	9	7
天津〃	9	6
廈門〃	10	8
シンガポール	13	15
ジャカルタ(インドネシア)	16	16
バンコク(タイ)	20	17
レムチャバン(タイ)	15	18
マニラ(フィリピン)	11	14
ホーチミン(ベトナム)	17	16
ロングビーチ(米国西岸)	16	18
シアトル(米国西岸)	21	13
チャーレストン(米国東岸)	30	23
ニューヨーク(米国東岸)	29	22
バンクーバー(カナダ)	23	13
ブリスベン(オーストラリア)	25	17
オーカランド(ニュージーランド)	25	26
サウサンプトン(イギリス)	29	37
ルアーブル(フランス)	30	38
ブレーメルハーフェン(ドイツ)	32	35
ロッテルダム(オランダ)	33	30

海上コンテナ輸送の御用命は「八戸港国際物流拠点化推進協議会」加盟の各社へ

八戸通運株式会社(海運営業所) TEL:0178-29-0202 FAX:0178-20-3281
 八戸港湾運送株式会社 TEL:0178-29-3177 FAX:0178-29-3119
 新丸港運株式会社 TEL:0178-20-2321 FAX:0178-20-2353
 八戸運輸倉庫株式会社 TEL:0178-28-2401 FAX:0178-28-6976
 三八五流通株式会社 TEL:0178-52-7755 FAX:0178-52-7751
 日本通運株式会社八戸支店 TEL:0178-27-3311 FAX:0178-27-5520
 ナラサキスタックス株式会社八戸支店 TEL:0178-20-1651 FAX:0178-20-2444
 青森県・八戸市・八戸商工会議所・八戸港振興協会
 株式会社青森銀行・株式会社みちのく銀行・八戸信用金庫

八戸港湾運送株式会社の紹介

所在地 031-8608 八戸市河原木字海岸16-4
TEL(0178)29-3177 FAX(0178)29-3119

近年、国際貿易を含む物流体系は技術革新が進み、港運事業をめぐる外部環境は著しい変容をみせております。

八戸港は、港湾施設の整備が着々と充実しており、北東北地区における大規模工業地帯の中核を形成しつつ、相俟って物流拠点機能を有する港湾として成長してきております。

こうした中、昭和17年に創業した当社は、多様化する輸送形態に即応するよう蓄積した技術を駆使し、港運事業のみならず幅広く営業活動を展開しております。

新時代のニーズに対応することは、お得意様のご要望にお応えすることと、社員一同、日々努力を傾注しているところであります。



八戸港湾運送株式会社

常務取締役 上村 宏之

編集後記

ようやく第2号が完成しましたがいかがでしたでしょうか。

八戸港では7月末の「海の祭典」、9月末の「アジアからのギフトフェア」と大きなイベントが連続して開催されます。

ポートアイランドの知名度アップにつながる事業で編集事務局もうれしい悲鳴をあげております。

タイトなスケジュールが続いておりますが、今後も充実した内容を目指してがんばりますのでよろしくお願いします。



八戸港国際物流拠点化推進協議会 Hachinohe Port Promotion Commission

031-8686青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市建設部港湾河川課内

TEL:0178-43-2111 (代表) FAX:0178-24-6186 e-mail: hppc@hi-net.ne.jp

(株)八戸港貿易センター Hachinohe Port Trade Center Co., Ltd.

039-1162青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階

TEL:0178-72-1505 FAX:0178-72-1503 e-mail: mail@hptc.co.jpwww.hptc.co.jp